



株オープン・エー代表取締役
馬場 正尊 さん

表原 お二人と阿南駅周辺を歩きまわした。まちの印象は、どうでしたか。
馬場 阿南駅周辺は、空き地が多い、緑が少ない、道路の走り方が複雑であると同時に川が美しいという印象です。空いた公共空間が集中している、いい感じに変化できそうなツボがあり、それらをうまくつなげるといいのではと感じました。
染谷 まちを歩いていくとどんどんと風景が変わるのが非常に印象的でした。
表原 まちのにぎわいや活性化について、どのように捉えていますか。
馬場 これからのまちづくりは、穏やかに持続可能で幸せな風景が広がっていることをめざすのが現実的です。いいまちの風景のイメージは、たくさんの方の人の流れや建物よりも、もっと穏やかな風景であると思います。

まちのにぎわい、活性化とは

表原 まちづくりにはたくさんの方の関与が必要です。場所やまちが人を育て、育った人はその場所、そのまちに愛着が湧くからまた他者を連れてきたり、次の人材を育てたりする。その循環を途切れさせないようにすることが大事です。
染谷 複合施設の場合、行政と民間のハイブリッド型の可能性もあり、それを誰が運営するかはあまり関係

表原 まちづくりは、わがまちを誇らしいと思えるかどうか非常に重要な要素です。
馬場 まちづくりにたくさんの方の関与が必要です。場所やまちが人を育て、育った人はその場所、そのまちに愛着が湧くからまた他者を連れてきたり、次の人材を育てたりする。その循環を途切れさせないようにすることが大事です。
染谷 複合施設の場合、行政と民間のハイブリッド型の可能性もあり、それを誰が運営するかはあまり関係

魅力的なまちをつくるために



株ひらく代表取締役社長
染谷 拓郎 さん

染谷 にぎわいや活性化は、自治体などの目線であり、まち側の人に置き換えると、穏やかなまちでも、まちの人の心がにぎわい、感情が活性化している、まちはにぎわっていると言えらると思います。



阿南市長
表原 立磨

表原 これから作っていく新しい場所が一人ひとりにとって新たな物語につながっていくことが大切です。しっかりとリーダーシップを発揮しながらやっていきたいと気持ちを強くしています。
染谷 このプロジェクトが将来的にプロセスやまちの人の声、行政側の声も含めて1冊の本にできれば最高だなと思います。

一人ひとりの物語が描けるまちづくり

馬場 まちづくりについて、それぞれの立場で、まちの当事者になるといいと思います。また、いかにまちを変えていくプロセスを楽しめる当事者になれるかがポイントだと思います。



まちづくりが照らす未来の可能性

まちづくりシンポジウムより

本市では、令和4年3月、JR阿南駅周辺の公共空間を活用した新たな拠点づくりに向け、今後の具体的な施策の「たたき台」として「阿南駅周辺まちづくりビジョン」を策定しました。今年度はこのビジョンの方針を踏まえ「阿南駅周辺まちづくり基本計画」の策定に向け、取り組みを進めています。
 令和4年11月27日(日)には、未来のまちづくりについて市民の皆さまとともに考える「まちづくりシンポジウム」を市役所あなんフォーラムで開催し、2人の専門家による基調講演の後、講師と表原市長によるトークセッションを行い、約80人の方々にご参加いただきました。

基調講演では、まちづくりの専門家である株式会社オープン・エー代表取締役の馬場正尊さんから、「公民連携によるまちづくり」と題し、自身の実践的なまちづくりの事例とともに「これからは行政主導ではなく、市民と企業が一緒になってまちづくりを進めていく時代である。阿南駅前には魅力的な公共空間や道路、河川敷、民間のお店等がある。空いた公共空間を魅力的にし、市民の新しい居場所に変えることが、阿南市のまちの変化の原動力になるのではないか」とお話をいただきました。
 本をツールとしたまちづくりを全国で手掛けられている株式会社ひらく代表取締役社長の染谷拓郎さんは、「本×まちの可能性」と題し、



土地利用方針図

本と宿泊施設や交流施設等を組み合わせた事例紹介をいただき、本は多面的で同じものでもいろいろな使い方ができることから、市民の方が求めるさまざまなものに対して、本が持つ多面的な性質を生かしたまちづくりの可能性について語られました。トークセッションの内容について、次ページで抜粋して紹介します。



広報番組をご覧ください

シンポジウムを紹介する広報番組をケーブルテレビ11ch(ケーブルテレビあなん、県南テレビ)やYouTube「阿南市公式チャンネル」、市ホームページで放映しています。



阿南市魅力ある都市づくり審議会を開催しています

阿南駅周辺まちづくりビジョンに位置付けたまちづくりコンセプトおよび基本方針等を踏まえ、今年度は、市民会館跡地等の公共空間における導入機能、公民連携手法および今後のまちづくりの方向性などについて、さらに検討を進めるため、都市計画、建築、図書館、環境等の分野をご専門とする有識者等で構成する「阿南市魅力ある都市づくり審議会」を設置し、専門的かつ幅広い視点から検討を行っています。

問い合わせ まちづくり推進課
☎22-15596